

令和 6 年度 事業報告書

社会福祉法人 はーとらんど

特別養護老人ホーム ハートランド五條

ハートランド五條 短期入所生活介護

ハートランド五條 デイサービスセンター

ハートランド五條 ケアプランセンター

社会福祉法人 は一とらんど 事業報告

1. 基本理念

『常に患者様と向き合い、患者様の立場に立ちその場その時に応じた最良の医療サービスを提供する』

2. 各サービスにおける基本方針

特養・ショートステイ

- ・プライバシーを守り、個人の尊厳を尊重します
- ・自立した日常生活がおくれるよう、残存機能に応じた支援を行います
- ・地域の方との交流を通して人にやさしい、あたたかい施設づくりを行います
- ・日々研鑽を重ね知識・技術・人間性を磨いていきます

デイサービス

- ・世代間交流を持ち社会参加の機会を作る
- ・利用者様および家族様の要望に応じたサービスを提供する
- ・安全、安心、快適な生活が送れるよう支援する。
- ・サービス利用の希望に対して、速やかなサービスの提供を行います

3. 令和5年度目標値

特別養護老人ホーム	49.0名/1日平均
短期入所施設	8.5名/1日平均
デイサービス	24名/1日平均

4. 令和6年度方針

- ①プライバシーを守り、個人の尊厳を尊重します。
- ②自立した生活が送れるよう、残存機能に応じた支援を行います。
 - (1) ご利用者様のペースに合わせた生活
 - (2) ご利用者様の要望に合わせた生活の空間の組立
 - (3) 利用者様の自主性に合わせた目標を持てる生活
- ③地域の方との交流を通して、人にやさしい、あたたかい施設づくりを行います。
 - (1) 住み慣れた地域や住まいで尊厳ある自立した生活
 - (2) 落ち着きのある生活空間の維持
 - (3) 家族・近隣者との人間関係を構築し円滑かつ良好に保つ
入居者の精神面での安定を図り、より良い生活支援を行うために施設と家族の意見交換の場として家族懇談会や個別の相談の場として随時の相談を積極的に行う。
また「地域への開放」も重要な役割の一つであり、施設行事への地域の参加や地域住民や学校等の公共施設等の施設見学等を積極的に受け入れていく。また、施設入居後に地域との関係を維持していくことができるよう、地域行事へも積極的に参加する。
- ④日々研鑽を重ね知識、技術、人間性を磨いていきます。
 - (1) 委員会活動の活発化
感染対策委員会、リスクマネジメント委員会、褥瘡対策委員会、身体拘束・高齢者虐待防止委員会を通じて積極的な意見交換と情報交換を行いよいチームワークの構築を目指す
 - (2) 介護実践の強化と知識の向上を目的とし、専門的知識を養うとともに介護スキルの向上に組織的に取り組む
- ⑤サービス利用の希望に対して、速やかなサービスの提供を行います。

5. 委員会別具体的目標

各委員会の活動強化 各委員会の活動強化

1) リスクマネジメント委員会

- ① 「事故・ヒヤリハット」に対する知識を身につけ実践に生かすことができる
 - ・年2回の施設内研修を実施する
 - ・実際に起こった事故・ヒヤリハットについて必ず振り返り、フロア介護等で（毎月1回）話し合う
 - ・危険なこと、予測される事態について気づく力を向上させる
- ② ヒヤリハット（ISOレポート）の件数を20%増やす
 - ・どの場面が「ヒヤリハット」にあたるのか実際に起こった事案について気づきや原因・要因・対応策をフロア全体で意見交換し共有する
 - ・利用者のADL・身体機能・認知機能の変化をスタッフ間で共有する（リスクを察知する）

2) 感染症対策委員会

- ① 感染症を持ち込まない・拡げない行動をする
 - ・個人用消毒液を携帯し一処置一消毒の徹底及び、利用者の手指消毒の徹底
 - ・常に感染症を意識する
 - 個人用の消毒液の量を確認し、消毒液の減りが少ない時は委員が各フロアへ発信する
 - ・換気の徹底。
 - ・感染ハイリスク者を把握しておく
 - ・状態変化時の情報共有、報告を迅速に行う
 - （バイタルチェック・一日4回の検温の継続実施）
- ② 環境整備・清潔保持の実践
 - ・尿路感染の予防：おむつ・パッド使用（バルン挿入）者に対し陰部清潔保持の介助方法のスキルアップを図る
 - ・口腔内の清潔保持：口腔内の状態・口腔ケアの現状把握と個々に合わせた適切な口腔ケアの実施年間を通し現状把握と評価を行う
 - ・生活環境において、感染源となるものを知り感染防止対策を実施（清掃・共有物の消毒・利用者の身なりの清潔保持等）
- ③ 感染症に対する実践的な研修を実施
 - ・継続的に感染症予防に対する意識を強化し、適切な対応技術を身に着ける
 - ・災害時の感染予防対策を知り、不測の事態が生じても感染予防を意識して行動する

3) 身体拘束・高齢者虐待防止委員会

- ① 身体拘束と考えられる介護をしない！させない！
- ② 利用者様の個別に合わせた介護実践と尊厳を守る対応の実践
 - ① ②については利用者の行動を制限する行為や高齢者に対する虐待行為を禁止すること、施設利用者に対して職員が尊厳ある行動や言動が行えることを目標とする。
- ③ 適切なケアの実践。
 - 看護・介護室の年間目標を踏まえ、介護・ケアの振り返りを行い実践検証することで統一した介護、適正な介護を実践していくことを目的とする。

4) 褥瘡対策委員会

- ① 褥瘡発生・悪化を予防する
 - ・看護・介護・栄養部門との身体情報交換を密にし連携を行う
 - ・看護による看護による褥瘡マネジメントを実施しケア計画書を作成する（褥瘡ケア加算導入する）
 - ・褥瘡発生予防・発生時の対応について知識・技術を身に着ける
 - ・事例を通しポジショニング・シーティングの見直し・検討
- ② 生活環境・ADLを把握し、褥瘡予防・皮膚トラブル防止のための個別対応の強化
 - ・看取り期の褥瘡発生予防と発生時の対応
 - ・個人に合わせたポジショニング・シーティングに使用するクッション・座布団などを適切に選択できるよう施設として紹介できる体制作り（新規利用時や必要時に家族や職員に提案できる体制をつくる）
 - ・生活スタイルや食事、運動など総合的なアセスメントを行うためにフロア会議、サービス担当者 会

議、褥瘡委員会で利用者の変化に合わせた対応方法を話し合う

…LIFE を活用（多職種で記入・情報共有する）

・体調の変化に合わせタイムリーにリスクを予測し個別対応を行う。

・事例から学びを深める。

5) 教育委員会

① 基本的知識・技術の向上と専門的知識を活用できる人材の育成

- ・認知症ケア・ユニットケアの知識・技術を習得し適切な対応を身に着ける
- ・個別の視点を持ち、必要なケアを見極める観察力・情報収集力・アセスメント力の習得
- ・看取りケアの知識と技術を身に着ける

② 専門職として「人を育てる意識」を持ち、共に学ぶ姿勢を持つ人材の育成強化

- ・チーム連携・責任ある行動を実践できる介護チームの育成支援
- ・チームを導き連携・連動できるリーダーの育成強化
- ・新入職介護職員の育成支援・教育の継続（海外人材を含む）
- ・チームの要となりチームを牽引できる中堅職員の育成

③ 責任を持ってチームケアを実践できる職員の育成強化

- ・専門職としての責任ある言動ができる職員の育成：報連相の徹底 優先順位 責任感 リスク予測
- ・連携力・チーム力の強化→組織力の向上を目指す→ケアの質向上につなげる

5. 法人役員・評議員の現員数

理事：6名 監事：2名 評議員：7名

任期

理 事：令和5年6月21日から2年間 令和7年に選任予定
(令和6年度、会計年度最終のものに関する評議員会終結まで)

監 事：令和5年6月21日から2年間 令和7年に選任予定

(令和6年度に終了する会計年度最終のものに関する評議委会終結まで)

評議員：令和3年6月14日から4年間 令和7年に選任予定

(令和6年度に終了する最終会計年度の定時評議員会の終了の時まで)

5. 職員の体制

＜特別養護老人ホーム ユニット・ショートステイ

令和7年3月31日時点

職 区 分	現員	備 考	職 区 分	現員	備 考
施 設 長	1	デイサービス兼務	看 護 職 員	8	非常勤3名
事 務 員	2	障害者雇用含む	管 理 栄 養 士	1	
生 活 相 談 員	1	社会福祉士	介護支援専門員	1	施設ケアマネ
介 護 職 員	39	非常勤 15名	医 師	4	嘱託
機能回復訓練員	1	鍼灸師（嘱託）	清掃	2	非常勤1名

＜デイサービス＞

職 区 分	現員	備 考	職 区 分	現員	備 考
管 理 者	1	特養兼務	生 活 相 談 員	1	社会福祉主事任用者
介 護 職 員	7	派遣職員3名	看護職員	2	非常勤1名

＜その他＞法人全体での人員移動

○看護職員退職人数 0名

○介護職員退職人数 4名

○介護職員の平均年齢： 42.5歳（昨年より0.25歳上昇）

○介護福祉士の総数： 12名（昨年度より2名減）

6. 各サービスごとの事業報告

1) 特別養護老人ホームハートランド五條（ユニット型）

入居の状況（令和6年4月～令和7年3月31日） 月末閉め人数

令和 6年度	入居者数（月末人数）			満床時延 べ人数 （人）	定員 （人）	延稼働実 人数 （人）	月間延 空床数 （人）	月 間 外泊・空床 率1日平均 （%）	年間平均 利用率 （%）
	男性	女性	合計						
4月	8	37	45	1500	50	1340	160	10.6%	81.7%
5月	9	37	46	1550	50	1349	201	12.9%	
6月	9	34	43	1500	50	1258	242	16.1%	
7月	8	34	42	1550	50	1302	248	16.0%	
8月	8	34	42	1550	50	1302	248	16.5%	
9月	8	35	43	1500	50	1238	262	17.5%	
10月	8	35	43	1550	50	1306	244	15.7%	
11月	9	37	46	1500	50	1340	160	11.9%	
12月	9	37	46	1550	50	1426	124	8.0%	
1月	9	39	48	1550	50	1375	175	11.2%	
2月	5	38	43	1450	50	1154	296	20.4%	
3月	5	38	43	1550	50	1302	248	16.0%	

令和6年度においては、空床、外泊、入院に伴う空床率は年間平均14.4%の結果であり令和5年度の空床%より3.15%悪化し、年間利用率においても7.2%低下した。

今年度においては、12月には、入所者が増加し、外泊・空床率が低下したが、1月から2月末にかけて、利用者のインフルエンザ・コロナ感染に伴う入院により、施設への退院が困難となり、急激な空床率の上昇へと繋がってしまった。

以降、新規の入所希望者も停止してしまっていた状況もある。

令和6年度 入 退 居 の 状 況

(人)

状 況	入 居				退 居				
	在 宅	S S	他施設 ※1	医療機関	在 宅	地域密着	他施設 ※1	入 院 ※2	死 亡 ※3
小計	3	6	2	1			1	3	10
合計	12				14				

※1 特養、グループホーム、老人保健施設など介護保険の施設。

※2 入院時の身体状況により家族からの退居の申出によるものと、入院期間が3ヶ月経過したための退居された方。

※3 医療機関への転院及び転院後、入院中に医療機関で死亡された方。

- ・ S Sとは、当施設ショートステイを長期利用もしくは定期利用しながら入居待機をしている方の入居で、ショートステイ希望の方で特養入居へ希望変更された方、満床のためショートステイで待機されていた方が含まれます。

利用者の状況

①特別養護老人ホーム ハートランド五條 入居者詳細内訳数

介護度別人数

3月末

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均
人数(R4年度末)	2	1	13	17	9	42	3.7
人数(R5年度末)	1	1	13	22	8	45	3.5
人数(R6年度末)	2	0	16	19	5	42	3.6

年齢別人数

3月末

年齢	～65歳	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	平均
人数(R4年度末)	0	1	4	19	16	2	87.8
人数(R5年度末)	0	1	3	15	23	3	89.2
人数(R6年度末)	0	1	3	13	23	2	89.8

②ハートランド五條 短期入所利用者数及び介護度平均

3月

介護度	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	合計(人)	平均
人数(R4年度末)	0	0	8	23	94	56	10	191	3.2
人数(R5年度末)	0	0	38	32	14	18	18	190	2.7
人数(R6年度末)	0	0	23	75	62	36	26	222	

③ハートランド五條デイサービスセンター介護度別通所者実人数と介護度平均

介護度	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	合計(人)	平均
R4年度	25	164	233	293	100	56	53	924	2.18
R5年度	42	149	256	291	99	59	15	911	1.7
R6年度	61	217	249	387	144	54	12	1124	2.91

デイサービス通所者月別延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
R4年度	652	629	604	661	631	591	601	569	597	541	455	590	7144
R5年度	572	631	616	600	624	633	584	550	568	543	570	606	7097
R6年度	606	595	567	617	578	546	613	578	522	486	514		

7. 地域との交流・施設行事

R6年度	施設内行事	地域への施設無料開放教室
4月	花見 近隣散策	感染対応中につき無し
5月	各フロア内において誕生会、日常レク 5月ボランティア慰問：初夏激励会	
6月		
7月	7月ボランティア慰問：昭和歌謡	
8月	夏祭り	
9月	各フロア内において誕生会、日常レク	
10月	10月ボランティア慰問：さつき会（歌・踊り）	
11月	敬老会・各フロア内において誕生会、日常レク	
12月	クリスマス会 年末餅つき	
1月	各フロア内において誕生会、日常レク	
2月	なかよし子ども園 園児の慰問 節分	
3月	各フロア内において誕生会、日常レク	

8. 会議開催の状況

○給食会議

開催時期： 毎月 1 回

出席者： 施設長、看護師、管理栄養士、事務職員、施設ケアマネジャー、デイサービス職員
日清医療食品株式会社職員（エリアマネージャー・栄養士）

○フロア会議

開催時期： 各フロア毎月 1 回

出席者： 各フロア職員、看護師（状況に応じて施設長、機能訓練士、管理栄養士、相談
議題：入居者様への対応フロアにおける介護に対する意見交換、改善すべき事項等

○委員会会議（教育・感染症・身体拘束高齢者虐待防止・リスクマネジメント・機能訓練委員会・褥瘡委員会）

開催時期：原則 1 回／月

出席者：各フロア委員、教育長、看護師（状況に応じて機能訓練士、管理栄養士、相談員）

9. 外部研修参加状況

- 令和 6 年 6 月 22・28・29 日・7 月 2・21 日 認知症介護基礎研修 e ラーニング
参加者：介護職員 5 名
- 令和 6 年 7 月 11 日 第 1 回南和地域感染症対策研修会・第 1 回感染対策向上加算カンファレンス
参加者：看護職員 1 名
- 令和 6 年 8 月 8 日 第 1 回吉野保健所特定給食施設等関係職員研修会
参加者：栄養士 1 名
- 令和 6 年 8 月 8 日～10 月 7 日 令和 6 年度 介護支援専門員更新（専門）研修
参加者：介護支援専門員（機能訓練指導員）1 名
- 令和 6 年 8 月 23 日 令和 6 年度 運営基準対応研修（高齢者の権利擁護）
参加者：介護支援専門員 1 名
- 令和 6 年 11 月 19 日 五條市高齢者虐待防止研修
参加者：介護職員 2 名
- 令和 7 年 2 月 21 日 「介護現場の伴奏力向上セミナー」働きやすい現場作りへ向けたコーチング
参加者：介護職員 1 名

10. 施設内研修実施状況

- 毎偶数月一回、5 回/年実施（12 月感染対応のため中止） 口腔ケア研修
（さくらデンタルクリニック 歯科衛生士実施）
対象者・・・介護職、事務職、介護支援専門員、看護師 一回平均 3～5 人参加
- 新入職時研修・オリエンテーション 入職当日に実施
令和 6 年 6 月 21 日 8 月 12 日 9 月 2 日 10 月 21 日 11 月 5 日
令和 7 年 1 月 20 日 2 月 3 日 3 月 10 日
対象者：介護職員・事務職員 参加者：介護職員 7 名 事務職員 1 名
内 容：基準集・規程集に沿って研修 感染症予防・リスクマネジメント・身体拘束廃止・高齢者虐待
防止・ハラスメント防止・労働安全・BCP
- リーダー育成勉強会 6 回/年
令和 6 年 7 月 1 日 高齢者の接遇対応の基本
令和 6 年 8 月 5 日 高齢者の接遇対応 リーダーとしての役割
令和 6 年 10 月 8 日 上半期部署運営の振り返り
令和 6 年 12 月 2 日 令和 7 年 1 月 6 日 2 月 3 日 今年度振り返り・課題・次年度目標
対象者：介護室フロア責任者・デイサービス所長・看護室長 参加者：5 名

- ・令和6年4月24日 自己学習会 おむつの当て方・基礎編
対象者：看護・介護職員 参加者：7名
内 容：おむつの当て方・選び方 パッドを重ねることの弊害 おむつ交換・体位変換・ポジショニングの演習
- ・令和6年4月24・26・29日 5月7・10・11・13・14・26・27日 8月4・5・7日 11月14日
褥瘡ケア研修
対象者：全職員 参加者：43名
内 容：褥瘡のメカニズム・アセスメント・評価・ケアアプローチ
- ・令和6年5月17日 相談員研修 相談員の責務・言動の振り返り・課題抽出
対象者：相談員他 参加者：2名
内 容：どのような相談員が求められているのか・相談員の責務・理念方針 自身の課題
- ・令和6年5月22日 高齢者虐待防止研修 記録・言葉使いのレベルアップとNGワード
対象者：全職員 参加者：56名
内 容：不適切ケアにつながる言葉、日ごろの自身の言動を振り返る 適切な介護記録の表現等
- ・令和6年5月28日 Ns プチ勉強会 経管栄養中の口腔ケアについて
対象者：介護職員 参加者：15名
内 容：利用者の口腔ケア実演・口腔ケアの要点
- ・令和6年6月5・6・7・10・11・13・19・23・24・30日 7月2・7日 8月7・9日
リスクマネジメント研修 ヒヤリハットの書き方と重要性
対象者：全職員 参加者：48名
内 容：ヒヤリハットとは・ハインリッヒの法則・ヒヤリハットの書き方（グループワーク）
ヒヤリハットから事故予防をすること・対応策を考えること 等
- ・令和6年6月1～30日 期間内取り組み 感染予防研修 食中毒予防
対象者：全職員 参加者：56名
内 容：「食中毒ずかん」の資料を読みワークシートの取り組み
- ・令和6年7月3～6・8・9・11・13・23・25日 8月4・13日 9月2・30日
感染予防研修 感染予防行動を振り返ろう
対象者：全職員 参加者：53名
内 容：標準予防策と感染経路別予防策・物品や環境表面の洗浄と消毒・感染拡大防止・BCP 対応
- ・令和6年8月7・10～15・17・20・26・28日 リハビリ体操の効果と口腔体操の必要性 腰痛予防
対象者：介護職員 看護職員 事務職員 参加者：55名
内 容：リハビリ体操の効果 口腔体操の必要性・効果 腰痛予防体操・ストレッチの方法と実践
- ・令和6年8月6～9月2日 デイサービス勉強会 ホスピタリティ・接遇力を高める
対象者：デイ職員 参加者：8名
内 容：接遇・ホスピタリティの資料を読みレポート提出・グループディスカッション実施
- ・令和6年9月4・6～17・20日 10月24・28日 11月1～3日 BCP 研修 災害時の対応
対象者：全職員 参加者：58名
内 容：災害図上訓練（DIG）の内容と効果・災害図上訓練の実施
- ・令和6年9月19日 BCP 研修 防災講習
対象者：全職員 参加者：7名
内 容：水害時の避難行動（垂直避難とその流れ）地震の際の行動・災害時図上訓練
- ・令和6年9月25日 自己学習会 高齢者に多い疾患とその症状
対象者：看護・介護職員 参加者：8名
内 容：高齢者に多い疾患・救急疾患と症状 嘔吐時の対応 転倒・てんかん 高齢者の心理的特徴
- ・令和6年9月30日 酸素濃縮装置についての勉強会
対象者：看護・介護職員 参加者：8名
内 容：在宅酸素療法で用いる酸素濃縮装置の仕組みの理解 使用時の注意点 酸素濃縮装置の種類と使用時の特徴 等
- ・令和6年10月2～7・11～17・24・28日 ハラスメント防止研修
対象者：全職員 参加者：52名
内 容：なぜハラスメントが起こるのか・ハラスメントを防止するための関係性の構築 心理的安全性
対話の重要性 ハラスメントが起こった時の対応と相談窓口
- ・令和6年10月9日 酸素濃縮装置についての勉強会（テイジン）

- 対象者：看護・介護職員 参加者：5名
内 容：携帯型酸素濃縮器の使用方法（特徴・充電の仕方等） 使用時の注意点 生活スタイルの合わせた使用方法 外出時の使用について 等
- 令和6年10月11日 フロア勉強会（3F）褥瘡の洗浄方法を学ぶ
対象者：ユニット介護職員 参加者：9名
内 容：褥瘡洗浄方法の演習 感染予防と洗浄時の注意点 軟膏塗布の方法と実演 スキンケア
 - 令和6年9月20日～10月12日 デイサービス勉強会 入浴介助研修
対象者：デイ職員 参加者：4名
内 容：デイサービス入浴基準にそって学習 現状把握・自身の振り返りを行い
グループディスカッション実施
 - 令和6年10月21～31日 期間内取り組み 身体拘束廃止研修 身体拘束について
対象者：全職員 参加者：57名
内 容：身体拘束となる行動 スリーロックとは 身体拘束の弊害と無くするために必要なこと
 - 令和6年11月6～17・23～29日 12月1・3・6・10・11日 感染症予防研修
新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う感染対策
対象者：全職員 参加者：56名
内 容：感染者居室レッドゾーンの基本対応 逆隔離の対応方法 状況別職員の感染予防策
5類移行後の留意点 職員が陽性になった時のフロア対応基準 緊急対応時の初動対応と
感染終息までの基本的な行動と流れ
 - 令和6年12月4・5・16～19・21・23・25・28日 令和7年1月2・4・11・17・21月1・26日
2月12～14日 リスクマネジメント研修
対象者：全職員 参加者：50名
内 容：KYTを用いて危険予知・予測する リスクの発生要因・原因に気づきヒヤリハット件数を増加
するための方法を学ぶ グループワーク 事故発生時のカンファレンスシートの活用
 - 令和7年1月8～13・15・24・29日 2月2・4・12～20・23・24・27日 高齢者虐待防止研修
その人らしさを大切にしたいケアを目指して
対象者：全職員 参加者：56名
内 容：虐待の種類 防止するための具体的な取り組み 事例を検討・グループディスカッション実施
 - 令和7年2月5～7・9・11～13・16・17・22日 3月20日 看取り介護研修
対象者：全職員 参加者：44名
内 容：看取り介護とは 看取りに対するスタッフの気持ち 取り組む際の大まかな流れ
 - 令和7年3月5～7・11・13・27・28日 コンプライアンス研修（法令順守・倫理 個人情報保護・
プライバシー保護と行動規範）
対象者：全職員 参加者：29名
内 容：法令順守 個人情報保護・プライバシー保護 施設職員としての職業倫理・行動規範
 - 令和7年3月26日 防災講習 災害時の搬送方法
対象者：全職員 参加者：8名
内 容：災害時の車いすでの搬送 徒手搬送 避難時の注意点 消火器訓練
 - 令和7年3月19日 BCP研修 地震発生時の対応
対象者：全職員 参加者：18名
内 容：地震の図上訓練 グループワーク
 - 令和6年3月17～30日 期間内取り組み 認知症ケア研修
対象者：全職員 参加者：57名
内 容：認知症の基礎学習 BPSDと個別のかかわり方 事例を通して対応方法を理解する
 - 令和7年4月16～30日 期間内取り組み 身体拘束廃止研修 身体拘束を無くするための車いす・
椅子の使用と見守りについて
対象者：全職員 参加者：57名
内 容：車いす座位時の身体拘束につながる事・不利益についての認識 自己の行動を振り返る
車いす座位時の適切なケア方法 見守りの適切な方法